

令和4年度入学試験問題（前期日程）

音 樂 理 論

（中等教育教員養成課程 音楽専攻）

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

[1] 次の楽譜を見て、以下の間に答えなさい。

2/8 time signature, treble and bass staves. The bass staff has a key signature of one flat. The treble staff has a key signature of one sharp. Measures 1-4. A bracket labeled (a) covers the first four measures. Measure 1: Bass note G, Treble note A. Measure 2: Bass note F, Treble note G. Measure 3: Bass note E, Treble note F. Measure 4: Bass note D, Treble note E. A bracket labeled (1) points to the bass staff between measures 3 and 4.

2/8 time signature, treble and bass staves. The bass staff has a key signature of one flat. The treble staff has a key signature of one sharp. Measures 5-8. Brackets labeled (ア) and (イ) point to the treble staff. Measure 5: Bass note E, Treble note F. Measure 6: Bass note D, Treble note E. Measure 7: Bass note C, Treble note D. Measure 8: Bass note B, Treble note C. A bracket labeled (2) points to the bass staff between measures 7 and 8.

2/8 time signature, treble and bass staves. The bass staff has a key signature of one flat. The treble staff has a key signature of one sharp. Measures 9-12. Brackets labeled (3) and (ウ) point to the treble staff. Measure 9: Bass note A, Treble note B. Measure 10: Bass note G, Treble note A. Measure 11: Bass note F, Treble note G. Measure 12: Bass note E, Treble note F. A bracket labeled (c) points to the bass staff between measures 11 and 12.

2/8 time signature, treble and bass staves. The bass staff has a key signature of one flat. The treble staff has a key signature of one sharp. Measures 13-16. Brackets labeled (d) and (4) point to the treble staff. Measure 13: Bass note D, Treble note E. Measure 14: Bass note C, Treble note D. Measure 15: Bass note B, Treble note C. Measure 16: Bass note A, Treble note B. A bracket labeled (4) points to the bass staff between measures 15 and 16.

(問 1) 楽譜中の①～④で示した2音間の音程をそれぞれ答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 2) 楽譜中の(a)～(d)で示した2音間の転回音程を、それぞれ答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 3) 楽譜中の で囲んだ拍の和音(ア)～(ウ)が、それぞれ以下の度数で所属する調の音階の上行形を、その右側に指示する譜表上に、調号を用いて全音符で書きなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

- (ア) VI ・・・・・・低音部譜表
- (イ) III ・・・・・・テノール譜表
- (ウ) V₇ (長調) ・・・高音部譜表

[2] 次の(1)～(4)に指定した種類の和音の基本形ができるように、それぞれの解答欄の該当箇所に全音符で音を書き足しなさい。ただしこのとき、解答欄の黒い音符が、各間に指定した和音構成音になるようにすること。また、黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

- (1) 増三和音 第3音
- (2) 属七の和音 第5音
- (3) 減三和音 根音
- (4) 長三和音 第5音

[3] 次の楽譜について、以下の間に答えなさい。

Adagietto

(問 1) 次の各問の答えを解答欄に書きなさい。

- ①この曲の最高音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ②この曲の最低音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ③この曲の最高音と最低音でできる音程を答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。
- ④この楽譜をこのままB管のクラリネットで演奏すると、5小節目の最初の音は、実音で何の音が出ることになるか。その音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ⑤↑で示した楽語の読みを書きなさい。

(問 2) この曲全体を、短3度低く、高音部譜表に調号を用いて移調しなさい。ただし記号「↑」は書き写さなくてよい。

[4] 次に掲げる旋律は、何分の何拍子で、何調であると判断できるか。それぞれの拍子と調を解答欄に書きなさい。

(1) 

(2) 

(3) 

(4) 

(5) 

[5] 次の間に答えなさい。

(問 1) 次の各文の (①) ~ (④) の中に、最も適切な語を解答欄に書きなさい。

(1) 一つの楽曲の中で調が変化することを (①) という。

(2) チェンバロやオルガンは、演奏するときに指で操作する部分の名称に基づいて (②) 楽器に分類される。

(3) 短調において、調号で指示された構成音を変化させずに記譜される音階を (③) という。これに対して、上行形では第6音と第7音を半音高く変化させ、下行形でもとに戻す音階を (④) という。

(問 2) オーケストラにおける弦楽五部のパート名をすべて書きなさい。

[6] 次の各文の説明にもっともよく当てはまる人物名を解答欄に書きなさい。

- (1) 1813 年に北イタリアで生まれたオペラ作曲家。1839 年《オベルト》によって、ミラノのスカラ座にデビューし、1842 年《ナブッコ》で国民的名声を確立した。他に代表作としては、《リゴレット》，《椿姫》，《アイーダ》，《オテッロ》などがある。
- (2) 1840 年生まれのロシアの作曲家。今日でも人気が高く、演奏会で取りあげられる機会が多い。バレエ音楽《白鳥の湖》や《くるみ割り人形》，交響曲第 1 番～第 6 番，ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調，ヴァイオリン協奏曲ニ長調などが特に有名である。
- (3) 1732 年に生まれ 1809 年に亡くなったオーストリアの作曲家。1761 年からハンガリーの貴族エステルハージ家に仕え、1790 年に解雇されると、ロンドンへ演奏旅行するなどして活躍した。100 曲をこえる交響曲や 70 曲ちかくの弦楽四重奏曲，50 曲以上ともいわれるピアノ・ソナタ，オラトリオ《天地創造》や《四季》など，膨大な数の作品を残した。
- (4) 1835～1921 年のフランスの作曲家。オルガンの名手としても知られた。1871 年音楽家仲間と協力して国民音楽協会を設立し、フランス音楽の振興や若い音楽家の育成につとめた。オペラ《サムソンとデリラ》，交響曲第 3 番ハ短調「オルガン付」，10 曲余りの協奏曲などの作品があるが、特に有名なのは室内楽的編成で作曲された組曲《動物の謝肉祭》である。

[7] 日本の音楽に関する以下の(1)～(5)の各説明文が説明している音楽種目や樂器や人物を、選択肢の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 歌舞伎《勘進帳》で、舞台上に居並んで演奏される三味線音楽。
- (2) 雅楽の合奏に用いられる管樂器の中で、唯一、和音を演奏できるもの。
- (3) 歌舞伎を創始したと伝えられる人物で、京都の四条河原に像が立っている。
- (4) 17世紀末の大坂で一世を風靡し、今日の文楽の伴奏として定着している、三味線伴奏の語りもの音楽。
- (5) 雅楽曲のうち日本古来の儀礼用の楽曲などで、拍子を刻むのに用いられる打樂器。

〈選択肢〉

- | | | | |
|---------|--------|--------|------|
| ア 植村文楽軒 | イ 箏拍子 | ウ 和琴 | エ 笙 |
| オ 常磐津節 | カ 義太夫節 | キ 出雲阿国 | ク 長唄 |
| ケ 拍子木 | コ 箜篥 | | |

[8] 次の楽語の意味を解答欄に書きなさい。

- (1) Vivace
- (2) Allegretto
- (3) rallentando
- (4) Tempo I
- (5) legato
- (6) con Ped.
- (7) energico
- (8) amabile
- (9) capriccioso
- (10) sempre forte